



留学だより✈



Vol.4 Nov

皆さんこんにちは。アメリカに留学中の、14期の大里です。いよいよ冬も訪れ、二学期もあと少しとなったことでしょう。今月は、学校の教科紹介を中心に紹介します。

【1st Chemistry -化学】



理科系は何を取ろうかと考えたところ、無難な化学を取ろうということでこれに決めました。ところがこれ、もはや授業じゃありません。10分で終わる塗り絵を60分の授業時間内に終わらせる。これが課題です。これまでの唯一の実験といえば、ポップコーン内の水分量を求める実験、つまりポップコーンでお腹を満たす時間でした。



10月23日のNational Mole Dayには、ぬいぐるみを作ることが課題のひとつとして出され、皆で朝ご飯を持ち寄ってパーティーだー！という始末。私はぬいぐるみの代わりに化合物を作ってモル質量を求めるゲームを作りました。が、先生の「ゲームを作ってきて」という課題はどうやらビジュアルだけのボードゲーム(?)を求めていたらしく、他の人はモル要素の無いゲームを作ってきて、先生も満足。何とも開いた口が塞がらないお話。

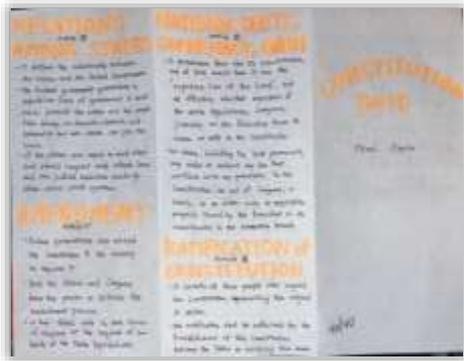
【2nd English-国語】

日本で言う国語の授業ですが、日本のように教科書がある訳ではありません。先生が用意した教材からロゴス、パトス、エトス、比喻などを読み取ったり、The Salem Witch Trial という歴史をテーマにフィルムを見て皮肉表現を学んだりしています。

Google Classroom を主に使って課題を行います。ほぼ毎日宿題が出され、これが一番小石川と同じ程重い教科のように感じます。



【3rd Civics - 公民】

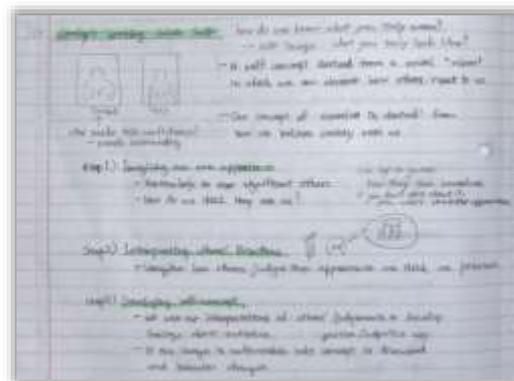
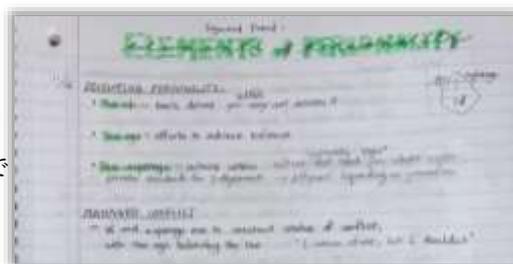


Constitution Guid

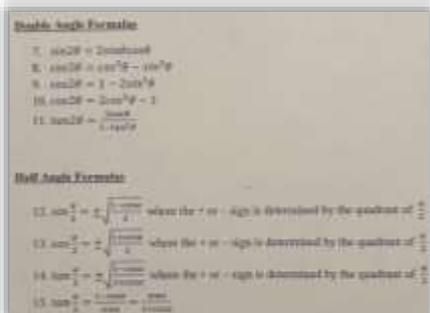
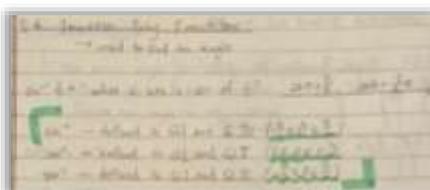
1日の中で最も好きな授業。主に政府の仕組みや国際連合との関係を学びます。キータームを調べたり、友達と喋ったり、お菓子を食ったり、バスケットをしたり(?)。先生も良い人で、授業の雰囲気も良く、学習の内容も面白く、とても良い授業です。ただ、至る所に初めましての語彙があるので、教科書を完全に理解することはできません。ですが、初めの1週間ほどに比べて先生の説明は確実に理解できています。つい先日選挙があり、ミシガン州の様子をリアルタイムで勉強しています。

【4th Sociology - 社会学】

最も興味深い授業がこの sociology。先生が毎授業初めに Bell Work という小さな問題を出します。(Ex. What is norm? Define ethnocentrism.)1週間に一度のペースでスライドを使った授業ですが、それ以外はグループワークやフィルムからの分析、ワークシート、ディスカッションです。先生の話す速さがとてつもなく速い上に声が大きく、教室は凍っていて、タスクは重い。授業としては大変ですが、学習内容はすごく面白いです。私たちが社会をどのように見て、社会がどのように動いて、私たちがどう生きているのかをクラス全体で話し合い(言い合い)ます。最近では哲学者(社会学者)のセオリーを学んでいます。小石川であれほど楽しみにしていたものの受けられていない倫理の授業のようで楽しいです。



【5th Trigonometry - 三角関数】



アメリカの数学は皆さんも小耳に挟まれている通り、かなり緩いです。元々幾何を取っていたのですが、切って色塗りして貼ってのあまりにも図画工作のお時間だったのでこれに変えました。内容はまだ基礎的なことしかやっておらず、歯痒い。まあ驚くことに、先生が生徒に二桁 x 二桁を何だっけ?と聞き、ある時には九九を間違えるという衝撃的な出来事がありました。先生も生徒も電卓は必須なので、暗算できるということが何とも誇らしくなってしまうようです。危ない、危ない。日本の、しっかりとコンセプトの仕組みから一つひとつ理解し、解法を身につける授業が何とも恋しいものです。日本の数学の授業は本当にしっかりとしています。先生が生徒の理解を助けようとしてくれたのだということが身に染みて分かりました。

もはや授業ではありません。Yearbookという卒業アルバムのようなもの（全生徒が買える）の中身を作る仕事をしています。私はフェミニストクラブについてと秋のファッションについて記事を書きました。右の写真のように記事を書いています。この授業時間内に校内の教室をめぐってランダムにインタビューをして写真を撮ります。この他人に話しかけてお願いをするスキルは、写真班で培われました。さすが。自分担当の記事以外用にも、フットボール、水泳、バレー、サッカーなど様々なスポーツの写真を沢山撮りました。自分の写真がyearbookに載ると想像すると何とも嬉しいものです。

先生もクラスメイトも良い人ばかりで雰囲気も良く、楽しんでいます。（ただし今は締め切りが迫ってきていて焦り中。）



いよいよ冬の部活動が始まりました。冬は、ボウリングやバスケ、チアリーディング、ポンポン（チアリーディングよりもダンスに近い）などがあります。私はポンポンに入りました。トライアウトという小さな入部試験のようなものがあり、私の学校のポンポンは Varsity しかないなのでその中から大会に“出る/出ない”のチーム分けがありました。私は大会に出るチームに入れたので、州や地域の大会に向けて練習中です。基本的には学校のバスケの試合の合間にパフォーマンスをします。冬になると外に出ることすらできなくなるので運動不足間違いなしですが、とりあえず体を動かすアクティビティが見つかって良かったです。（ご覧の通り体育の授業すら取っていませんので。恐ろしや。）

【雪遊びで冬を感じたお話】



雪が降った日の放課後に、庭に積もった雪で雪合戦をしたりペットのハスキーと走り回って遊んだりしました。雪を蹴ると舞った粉雪をワンちゃんが追いかけてパクパク。何ともそれが可愛いのです。これからもっと雪が積もったら、アイススケートをしたりソリ滑りをしたりするそうです。その後のホットココアとチーズサンドイッチが幸せでたまりません。

【選挙のお話】

11月8日にここミシガン州で選挙がありました。お母さんに選挙会場まで連れて行ってもらい、実際に選挙の様子を覗いてきました。私はまだ選挙権はないものの、Future Voter のステッカーをもらいました。複数の proposal への Yes/No、学校のディストリクトの議席などへの投票がありました。今回特に家族皆が気を遣っていたのは proposal 3 に”Yes”と投票することです。もしもこれが通らなければ、Birth Control (避妊、生理不順などを自分でコントロールすること) の権利が失われ、なんと 1931 年の法律に後戻りしてしまうそうです。ホストブラザーが transgender なので、ホルモンの調節をできなくなるということは彼が彼として生きる権利が危うくなってしまいますのです。彼だけでなく、その人がその人として生きるのを否定されているようなものです。とはいえ結果は通過したので家族で一安心。至る所に宣伝の立て看板があり、学生も選挙に行っていて活発だなあと感じました。

コントロールに因んで。先日学校の Pompon のための書類を作り病院に行きました。その道中に、お母さんが「自分の体は自分で守ってコントロールして大切にするんだよ、書類に必要無くてデリカシーのない質問には答え無くていいよ」と言ってくれました。自分のことは自分で大切に、責任を持つという感覚を強く感じました。



【Thanksgiving Day】

11月24日木曜日は thanksgiving という祝日、いわゆる感謝祭がありました。そのために学校は水曜から日曜まで5連休。前日から両親は料理を作り始め、当日には家族の友達の家に行ってまた料理。何とターキー3羽を用意しました。(大人5人、子供6人) 気合いの入り方は日本のおせち料理のようでしたが、一つ違いといえば料理の色。日本の豪華な食事といえば、様々な色と様々な食材を使った料理ですが、こちらはだいたい茶色。でも凄く美味しかったです。ご飯の後はパイが伝統。パンプキン、チェリー (ミシガンの名産らしい)、りんご、チョコ、スイートポテトなど。一日中食べていました。“アメリカンな何”と言われても分かりませんが、とにかくターキーはビッグイベントです。(“THANKSGIVING IS TURKEY DAY”という曲を見つけちゃいました。)



【Black Friday】

翌日のブラックフライデーには、クリスマスのデコレーションを始めました。クリスマスツリー2本を出し、オーナメントを飾り、靴下を暖炉に掛け、クリスマスソングを流し、気分はすっかりクリスマス。アメリカのブラックフライデーといえば、度を越えた割引争奪戦。75%引きなどの割引を目掛け、朝方2時から並ぶ人もいるそう。店の中はコロナ禍のトイレットペーパーとマスク争奪戦のようなもう災害そのもの。私の家族は朝には行かず夜にお店に行ったので、何とも落ち着いて平和な金曜日を過ごしました。



今月も読んでくださりありがとうございました。そろそろ冬も本場を迎えようとしています。そして来月はみんな大好きクリスマス。冬休みをモチベーションに頑張りましょう！

来月は（多分）クリスマスと冬休み中心になるような気がしますが、また読んでくださると嬉しいです。